

●加古川総合保健センター

▶内容 がん検診（肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん）
その他の検診（肝炎ウイルス、胃がんリスク、骨粗しょう症）
特定健診・健康診査（特定健診に準じた健診）

▶日程

9月	7日(水)	9日(金)	15日(木)	23日(金)	30日(金)				
10月	4日(火)	7日(金)	12日(水)	14日(金)	18日(火)	21日(金)	24日(月)	29日(土)	31日(月)
11月	2日(水)	11日(金)	15日(火)	17日(木)	18日(金)	22日(火)	25日(金)	30日(水)	
12月	7日(水)	9日(金)	13日(火)	15日(木)	16日(金)	21日(水)	26日(月)		
1月	11日(水)	16日(月)	17日(火)	23日(月)	27日(金)				
2月	4日(土)	6日(月)	8日(水)	10日(金)	17日(金)	22日(水)	24日(金)	28日(火)	

▶バスの運行日

□で囲っている日程は、加古川総合保健センターまでバスを運行します。

▶バスの出発場所・時間

役場第1庁舎 駐車場 12:30 (要予約)

●中央公民館

▶内容 ※婦人科検診はありません。
・がん検診（肺がん、胃がん、大腸がん）
・その他の検診（肝炎ウイルス、胃がんリスク、骨粗しょう症）
・特定健診・健康診査（特定健診に準じた健診）

▶日程

10月	1日(土)	27日(木)
1月	30日(月)	
2月	14日(火)	20日(月)



検診はがんを見つける近道です がん検診を受けましょう



今、2人に1人が、がんにかかる時代です。がんは自覚症状がないまま進行し、気づいた時には手遅れ…ということも少なくありません。実際に、住民の方から「もっと早くに見つかったら…」といった声を聞くことがあります。しかし、検診での早期発見や早期治療により、完治も可能です。ご自身の健康のため・家族のために、ぜひがん検診を受けましょう。

▶問合せ すこやか環境グループ ☎079 (435) 2611

どんな検診があるの？

＜肺がん検診＞

胸部X線検査（レントゲン）で、肺全体をみます。また、たばこの本数と喫煙年数で一定以上の数値になる方には、痰にがん細胞が混ざっていないか調べる喀痰検査があります。

＜胃がん検診＞

造影剤（バリウム）と発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、X線検査（レントゲン）で胃の形や粘膜を見る検査です。

がんだけでなく、良性の腫瘍やポリプも発見できるので、早めの治療につながりやすいです。

＜大腸がん検診＞

がんやポリプが大腸にあると便に血液が付着します。便の表面を採る棒で擦って採取し、血液の付着がないか検査します。自宅ででき、食事制限もありません。

＜子宮がん検診＞

膈内に器具を入れておりもの状態や炎症の有無を見る視診と、ブラシで頸部を擦って顕微鏡で見る細胞診を行います。がんになる前の正常でない細胞も発見でき、早期発見につながります。

＜乳がん検診＞

乳房にしこりがないかを見る視触診と、乳房を装置ではさみ、圧迫してX線撮影するマンモグラフィ検査を併用します。マンモグラフィでは、触診だけでは発見しにくい小さなしこりも発見でき、早期の乳がんの発見につながります。

＜肝炎ウイルス（B型・C型）検診＞

血液検査で肝炎ウイルスに感染しているかを検査します。

B型・C型ともに放置していると、肝炎や肝がんを招く原因となります。しかし、医療機関で適切な治療を受けることで、症状の進行を防ぐことができます。

こんな方は、注意を

B型肝炎は、昭和23年から昭和63年までの間の集団予防接種の際に、注射器を連続使用されたことが原因で感染が増えました。
C型肝炎は、ウイルスのチェックが不十分だった平成4年以前の輸血、平成6年以前の血液製剤の使用により感染が増えました。

両方とも主に血液を介して感染しますが、自覚症状がないことが多いため、気づかない間に肝炎ウイルスに感染している可能性は大いにあります。肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、ぜひ一度検査を受けましょう。

＜胃がんリスク検査＞

血液検査でピロリ菌に感染しているかどうかと胃の萎縮度を調べて胃がんになりやすいかどうかを検査します。

ピロリ菌とは？

ピロリ菌（ヘリコバクターピロリ）は胃の粘膜に住みつき、胃の壁を傷つける細菌で、慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃がんなどの原因になっていることがわかっています。
50代以上の方では、70%以上、若い方では20～30%が感染していると考えられています。

誰でも受けられるの？費用は？

右ページにある対象者・費用の表をご参照ください。

65歳以上の方は、肺がん、胃がん、大腸がん、子宮がんについては無料です。乳がん、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検査については有料です。

生活保護を受給されている方や世帯の方全員が非課税の方については、検診費用の免除制度があります。加古川総合保健センターに申し込み後、受診日の1週間前までに、すこやか環境グループまで朱肉を使う印鑑をお持ちのうえ、免除申請にお越しください。

いついつに受けられるの？

加古川総合保健センターか中央公民館で受診できます。詳しくは上記の日程表をご覧ください。

また、子宮がん検診は、加古川市・稲美町の協力医療機関でも受診できます。

がん検診を受けた後は…

1カ月程度で、加古川総合保健センターから検診結果が届きます。

「精密検査が必要」との結果が出た場合、「結果が怖いから詳しい検査を受けたくない…」今は自覚症状がないから受けなくても…」と思われるかもしれませんが、精密検査が必要という場合は、「がんの疑いを含め異常（病気）がありそう」と判断されたと

ており、免疫力が弱い幼児期に口から感染すると考えられています。

※肝炎ウイルス検診と胃がんリスク検査は、過去に受けたことがない方が対象ですので、ご了承ください。

対象者・費用

項目	対象者	費用
肺がん（結核）		700円（65歳以上無料）
胃がん		1,400円（65歳以上無料）
大腸がん		1,000円（65歳以上無料）
子宮がん(2年に1回)	18歳以上（平成11年3月31日以前生まれ）	1,200円（65歳以上無料） 医療機関で受診する場合は、1,500円（65歳以上無料）
乳がん(2年に1回)	40歳以上（昭和52年3月31日以前生まれ）	3,300円
肝炎ウイルス	40歳以上（昭和52年3月31日以前生まれ） ※過去に検査を受けたことがない方のみ	1,000円
胃がんリスク	18歳以上（平成11年3月31日以前生まれ）	無料
骨粗しょう症	18歳以上（平成11年3月31日以前生まれ）	500円
基本健診	30歳～39歳（昭和52年4月1日～昭和62年3月31日生まれ）	1,000円

いうことです。その原因について、より詳しい検査を行い、本当に異常があるかどうかを調べる必要があります。がんは早期発見・早期治療が大切です。実際に精密検査を受けて早期発見・治療できた方から「早くに検査して良かった」という声をお聞きます。ですので、ぜひ早めに検査を受けましょう。

予約・申し込み先

加古川総合保健センター、中央公民館での健診・子宮がんの医療機関での検診については加古川総合保健センターまでお申し込みください。

▼申込方法 住所、氏名、電話番号、希望日、コース（午前／午後）を電話でお申し込みください

▼受付時間 午前8時30分～午後5時（土・日曜日、祝日、12月29日～1月4日を除く）

加古川総合保健センター
☎079 (429) 2923

※役場から加古川総合保健センターまで送迎バスを運行します。バスを運行する日は、日程表の□で囲っている日のみです。バスの利用には予約が必要ですので、検診申し込み時にあわせてお申し込みください。